

令和6年度 第4回 富塚小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年1月31日（金） 14時00分～15時15分
- 2 開催場所 富塚小学校 会議室
- 3 出席委員 吉原 忍、鈴木 秀俊、萩原 孝英、小宮山 文博、久保田 智彦、
鈴木 佐知、笠原 大輔、平出 裕美子
- 4 欠席委員 高橋 麻由美
- 5 オブザーバー 門奈 保典（富塚協働センター）、小楠 佳子（地域代表）
- 6 学校支援コーディネーター 水野 敦子
- 7 学 校 村松 一彦（校長）、古宮 康子（教頭）、池内 伸彰（教務主任）、
新田 久美子（CSディレクター）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 新田 久美子
- 10 議長の選出

司会の教頭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木秀俊委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）学校関係者評価について
- （2）来年度の学校運営の基本方針の概要説明
- （3）学校運営協議会自己評価について

12 会議記録

司会から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校関係者評価について

議長の指示により、教務主任から、令和6年度学校関係者評価の結果と考察、改善案について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ いじめの認知件数について、これはどうやって分かったのか。自分で言ったのか。
→ いじめについては本人からの申し出、保護者からの相談、友達からの報告などにより把握している。（校長）
- ・ いじめの具体的な内容はどんなものがあるのか、また暴力によるいじめはあるのか。（久保田委員）
→ タブレットからの悪口の書き込みなどがあった。暴力によるいじめはない。（校長）
- ・ アンケートの結果で、ICT関連の項目の評価が児童は高く、教職員は低くなっている。
これはなぜなのか。（久保田委員）

→ICT機器は、使えばよいから、どう使うかということに基準が変わってきている。

ICT機器を積極的に活用したかと問われると、そうではないと感じる教員もいるのかもしれない。（校長）

- ・先程校長先生から、修学旅行での人間関係作りについての話があったが、人間関係作りにおいて修学旅行などのイベントが重要なのか。子供たちはイベントがあったから友達関係を感じるのか。（萩原委員）

→子供たちからは、修学旅行でそれまで話したことがなかった人と話すことができたという意見が出た。修学旅行などの行事が、人間関係を広げる場としての役割を果たしている。（校長）

- ・不登校について、どのように認識、把握しているのか。また、学校としてはどのような働きかけをしているのか。（鈴木秀俊委員）

→不登校は、欠席が年間30日以上という基準がある。本校にも不登校となっている児童はいる。学校としては、無理して登校させるという刺激を与えてよいか、など難しいので、保護者と話をする、場合によっては病院や専門機関を紹介するなどの対応を行っている。（校長）

- ・どんな理由で不登校となっているのか。いじめが原因の子はいるのか。（鈴木佐知委員）

→いじめが原因での不登校は本校にはいない。理由がはっきりしている子としていない子がいるが、心が疲れているという子もいる。（校長）

- ・いじめについて、同じ子が何度も繰り返すということはあるのか。（鈴木佐知委員）

→加害児童の様子は継続して見ているが、何度も繰り返す、ターゲットを変えて続けるという子はいない。（校長）

- ・アンケート結果について、学習関連の項目で保護者と児童・教職員に差がある。例えば「お子さまは、意欲的に学習に取り組んでいる」という項目の保護者の評価が低い。

学校に来て様子を見てみると、子供たちはとても頑張っているいろいろな学習に取り組んでいることが分かるが、それが保護者に伝わっていないと感じる。もっと学校での様子を発信できるとよい。（吉原会長）

- ・PTAの活動などもいろいろとやっているのに保護者に伝わっていないと感じる。もっと情報発信できるとよい。（鈴木秀俊委員）

- ・保護者が集まる機会が少ない。参観会後の懇談会に参加する人も少なく極力関わらないようにしていると感じる。学校で強制的にでも保護者がコミュニケーションをとる場を提供してもらえるとよいと思う。（鈴木佐知委員）

→学校で強制するというのはコロナも経ておりこういう時代なので難しい。協働センターを活用するなどの方法はあるかもしれない。（校長）

- ・コミスクの認知度は子供や先生では少しずつ上がってきているが、保護者はまだ低い。

しかし、今年度はミシンボランティアに参加してくださる保護者が増えるなど、少しずつ知ってもらっているという実感はある。情報発信の方法としてブログや回覧の他にどのようなものがあるのか考えていきたい。

(2) 来年度の学校運営の基本方針の概要説明

議長の指示により、校長から、来年度の学校運営の基本方針の概要について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・先程のアンケート結果で「夢や目標に向かって、できるまで粘り強く取り組む」という課題があったが、これについてはどのように対応していくのか。(鈴木秀俊委員)
- すぐに結果に結び付くかは難しいが、自分で課題を見つけてそれに向けて努力するという取り組みを続けていきたい。(校長)

(3) 学校運営協議会自己評価について

議長の指示により、会長から、学校運営協議会自己評価について説明があった。

オブザーバーからは以下の発言があった。

- ・コミスクの存在は今の保護者の中では当たり前になっていて、コミスクの活動として認識されにくいと感じている。以前、いつ行ってもいい参観会というのがあったが、保護者が気軽に学校の様子を見る機会があるとよいと思う。(小楠さん)
- ・協働センターとしてできる協力はしていきたい。協働センターの掲示板を活用して情報発信を行うなどできるとよい。(富塚協働センター 門奈さん)

報告

○夢育やらまいかCS加算分の報告

教頭から、夢育やらまいかCS加算分について報告があった。

○学校支援コーディネーターより活動報告

- ・2学期末からこれまでの活動として、花壇の整備、つくし学級のさつまいもパーティー、雅楽教室などを行った。またコーディネーター研修へ参加した。
- ・1月30日に読み聞かせボランティア6名の方々に、本の読み聞かせを行ってもらった。
- ・これからは参観会の花生け、1年生の昔遊び、卒業式のコサージュ作りなどの活動を行う予定。
- ・今年度の授業支援については、コーディネーター3名で効率よく動けたと思う。これまでは毎年同じ活動が続けてきたが、今後は今の規約に沿った活動に変えていながら、活動内容の見直しを行っていきたい。

その他の報告事項

司会から、次回会議を令和7年4月24日(木)13時30分から富塚小学校会議室で開催する旨の報告があった。